



広島中央トピックス



▲ドローン撮影による測量を見守る法人メンバーら

水田均平を省力化 ドローン測量実演

J Aは2月6日、西条町の農事組合法人ファーム西田の水田で、ドローンによる測量を実演しました。上空55mから撮影し、圃場内の均平度や土量を測

定。J Aは水田の均平化作業の省力化や精度を高めるために活用し、良質米生産の拡大へつなげたい考えです。
ドローンはあらかじめ設定したルートを自動で進みます。撮影した写真を基に点群データを生成し、専用ソフトで解析することで圃場内の高低差などを可視化します。大信産業が協力して、昨年度から無コーティング種子代かき同時播種栽培に取り組み同法人の圃場3カ所で実演しました。

米の食味向上へ 生産者ら座談会

J Aは2月3日、土壌分析や栽培技術、良食味米生産などに精通した生産者や関係者を集めた座談会を開き、食味を上げる生産技術や今後の方向性を探りました。

米の販売競争が激化する中、J Aは食味や品質の向上で差別化を狙い、堆肥や肥料などの比較栽培などに取り組んでいます。座談会では、情報通信技術を活用して良食味生産に取り組み豊栄町の村若哲磨さんのデータ分析を基に、J Aの技術顧問らが



▲良食味米生産へ意見を交換する関係者

意見を交換。平均気温や日照時間がタンパク質の含有率に影響するなどを踏まえ、水管理の具体策などを話し合いました。

ポン菓子完成 志和小学校

志和小学校の5年生41人は2月8日、同校でポン菓子作りを体験しました。食農教育の一環で、J Aが協力。児童が田植えや稲刈りを通じて育てた米を使用し、消費までを学びました。

J A職員が、米がポン菓子になる原理を説明し、作り方を実演。児童は、水などを加えて煮たてた砂糖で味付けしたポン菓子を袋詰めしました。約60袋分でき、5年生が持ち帰りました。
河原一馬君は「機械の大きな音にびっくりしたけど、米がポ



▲ポン菓子を袋詰めする児童

ン菓子になる様子を見学できて楽しかった」と話しました。

酒都西条町PR 飾りだる贈られる

J Aは2月13日、西条酒造協会から飾りだる3丁の寄贈を受けました。

西条町は、J R西条駅前七夕の酒蔵が並ぶ全国屈指の酒ど



▲西条酒造協会から寄贈された飾りだる

ころ。同町の中心部に位置し、来店客の多い西条支店に酒だるを展示することで、酒都PRを後押しします。
J A管内は酒造好適米「山田錦」の生産も盛んで、同市酒米栽培推進協議会が酒造りに地元産を使い地産地消に取り組んでいます。
同支店は窓口で管内産の玄米を販売するなど、特産品のPRに力を入れています。

なるほどえ〜のう！ 営農情報

水稲

効果的な除草剤の使用について

米の検査で等級低下の要因の第1位はカメムシ類による着色粒です。検査では1,000粒当たり(カルトンひと並び)2〜3粒で2等、4〜7粒以上で3等に格下げとなります。カメムシ類は穀物の子実が固まる前の糊状の養分を食害しますが、特にノビエの種子が大好物です。したがって、ノビエが田に繁殖しているとカメムシ類の餌場をつくるようなもので、いくら防除しても効果は半減してしまいます。ヒエ対策は除草剤を効果的に使用することが原則にな

りますので次のことを参考にしてください。

初期除草剤の使用

昨年、雑草が多発した田や代かき後から田植えまでの期間が空く田には、初期除草剤を使用してください。定番は「サキドリEW」ですが、クログワイなどの難防雑草が多発した田では「テマカットFB」、生活排水などが流入し藻類が多発する田では「農将軍FB」を選択するなど使い分けをしてみてください。

初期除草剤を田植え前に使用した場合、成分が河川などに流失するのを防ぐため、7日間は田植えができませんので計画的に使用してください。

一発除草剤について

栽培層では「カイリキZ」と「ゼータタイガ」の2剤を提案しています。展示圃での実証結果はどちらも優秀でしたので後述の使用方法を守って施用してください。

と秋冬白ねぎの複合経営」で体力を蓄え、施設園芸の振興を推進します。

資材費などの高騰対策について

園芸品目に関わらず、農業を取り巻く環境は肥料価格やビニールハウスなどの鋼材費高騰により、極めて厳しい環境下にあります。地域農業戦略で目標としている施設ホウレンソウの生産拡大についても、過去に例を見ないほどの鋼材費の値上がりで計画の再考を余儀なくされています。今後は合併JAのスケールメリットを活かし、独自の助成事業や行政補助事業を積極的に提案することで、この難局を乗り越えていきます。

園芸振興に向けた支援策について

昨年度、JA広島中央は露地夏秋ナスの新規栽培・規模拡大に対する支援策として、「日射比例型拍動式かん水装置及びステンレス支柱購入費助成事業」を新設しました。

ナスの栽培資材については導入コストが高額で普及が難しいとい

【剤型】

①粒剤
田の地表に落ちた剤から徐々に成分が溶出するため、散布ムラにならなければ最も効果が安定した剤型になります。

②FB剤
器具が不要で散布後速やかに田に広がり、処理層をつくります。藻が多発している田では効果が劣ります。

③ジャンボ剤
最も労力がかかりませんが、水深は5cm以上保つようにしてください。また、藻が発生している田では効果が劣ります。

アオミドロなどの藻類が多発する田では除草剤の成分が広がらないため、除草剤の効果が著しく低下します。藻類には「モゲトン粒剤」が効果的です。一発除草剤を使用する2〜3日前に使用し、あらかじめ処理しておきましょう。



う課題を抱えていましたが、導入費の一部をJAが助成することで栽培環境を整え、生産拡大を後押しします。この機会に導入をご検討ください。



▶日射比例型拍動式かん水装置「ソーラーパルサーE」

デジタル技術の活用について

主に青果物の出荷・販売については、生産者による出荷から営農指導員による集計、報告書作成までを紙媒体に手書きで対応し、時間も労力もかかる非効率なものとなっています。

特にここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大で、時間帯を分散させた買い物の推奨や売り場の縮小で、出荷数量の報告はこれまで以上にシビアなものとなっています。そこでJAは、コロナ禍で急激に普及が進んだデジタル技術を利用し、迅速な販売量報告による有利販売を目指し、農業者所得の増大に向けた取り組みを展開します。

箱処理剤の使用について

「秋ウシカ」は作況に影響する災害的な被害をもたらします。令和4年度の被害はごく軽微で済みましたが、安全のため「ウシカ類」に卓効のある「ピラキサルト」を含む「防人箱粒剤」かそれに紋枯病対策の成分を含む「スクラム箱粒剤」を選択してください。

「秋ウシカ」は本田で発生した後に防除したのでは既に手遅れになっていることが多く、箱処理剤の使用が最も効果が高いです。



▲秋ウシカの被害に遭った水田



❗️ご注意ください❗️
箱処理剤と除草剤を間違えて使用する方法が毎年おられます。散布する前に必ずラベルを確認してください。

JAは、農作業の中でも過酷な作業となっている水田法面草刈りの作業受託を次のような内容で行ないます。
「高齢化により高所、斜面草刈り作業」などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

【作業地区・作業条件】

- 圃場整備済み水田の法面
- 法面の傾斜角度が45度以内
- ラジコン草刈り機で作業可能な部分

問 広島中央地域本部内の各アグリセンター(旧グリーンセンター)

ラジコン草刈り機による水田法面の草刈り作業受託 受付中



広島中央農機センター 農繁期の休日対応について

広島中央農機センターでは、春の農繁期に次の期間、土・日・祝日の休日営業を実施します。どうぞご利用ください。

【実施期間】

4月22日(土)～
5月28日(日)

Information お知らせ

露地夏秋ナス振興へ

資材導入費を補助します

広島中央地域本部は露地夏秋ナスの生産振興に向け、栽培資材の導入費を補助する事業を始めました。日射比例型拍動式かん水装置(ソーラーパルサー)と誘引用のステンレス製支柱(タフカットパイプ)の同時購入が条件で、上限は15万円。省力化や収量安定へ向けてJ Aが導入費の一部を負担し、新規参入や栽培面積の拡大を後押しします。

近年は猛暑などの影響で、栽培に多くの水が必要なナスは収量・収益ともに減少傾向にあるため、J Aは自動かん水装置や高強度の支柱の導入を勧めています。

日射比例型拍動式かん水装置とは

ソーラーパネルで発電し、晴天時に水を自動でくみ上げて貯水タンクにため、満水になると排出する仕組み。畝の中央にはわせた点滴チューブで、一定量を土中に染み込ませます。肥料をネットに入れて貯水タンクに漬けると水と同時に散布でき、大幅な省力化と施肥量節減が期待できます。株を支える支柱は強度が弱いと栽培終盤まで持たず、収量減につながります。

助成対象者は

広島中央管内の生産農家で、生産品目や作付面積、今後の出荷計画などを踏まえた事前面談で広島中央地域本部が承認すれば助成を受けることができます。

問 広島中央地域本部内の各アグリセンター(旧グリーンセンター)



▲ J Aが導入を推奨する自動かん水装置

大型特殊自動車運転免許(農耕車限定)取得に向けた講習会および試験のお知らせ

道路運送車両法の運用見直しに伴い、農耕車の公道の走行時法令順守に取り組むため、J A全農ひろしま主催の講習会を開催します。つきましては、希望の日程を各アグリセンターでお申し込みください。

①開催日時

講習日程 ※土日は除く	試験日	申込期日(厳守)
9月19日(火)～ 9月26日(火)	9月27日(水)	6月30日(金)
10月 3日(火)～10月10日(火)	10月11日(水)	
10月31日(火)～11月 7日(火)	11月 8日(水)	
11月14日(火)～11月21日(火)	11月22日(水)	

- ②開催場所** **講習** J A西日本営農技術センター(東広島市河内町入野11631-13)
試験 広島県自動車運転免許三次試験場(三次市島敷町1880-11)

③受講人数 12～14名/1回 ※応募が定員を超過した場合、抽選になります。

④受講費用 38,000円(税込) ※受験料2,600円(非課税)が別途必要です。

⑤申込方法 お近くのアグリセンター(旧グリーンセンター)でお申し込みください。

⑥抽選結果 抽選により決定した受講者への連絡は、当J Aを通じて行ないます。別途必要書類をご記入並びにご準備いただくようになりますので、ご了承ください。
 なお、抽選結果の個別連絡は、決定した受講者のみとさせていただきます。